

2学期は、学園祭に始まり、様々な学校行事、各部の大会等、生徒のみなさんが活躍する場面がたくさんありました。そうした機会を通して、新たなことに挑戦し、自らの成長につなげることができましたか。3年生の中には、すでに就職内定を頂いた人、推薦試験等での合格通知を受け取った人もいます。まずはおめでとうございます。これから受験に臨む仲間を応援する気持ちで、残された高校生活をきちんと送ってください。そして、これから受験に向かう人は、いよいよラストスパートです。体調管理に気をつけて、最後まであきらめず、第1志望校合格を勝ち取ってください。2年生、1年生のみなさんは、年が明ければ、それぞれ3年生0学期、2年生0学期がスタートします。気持ちも新たに、新学期を迎えてください。

江津高校グランドデザインの「4つのC」のうち、1学期終業式では「Challenge(挑戦)」について、2学期始業式では「Communication(対話)」について話をしました。今回は「Critical Thinking(批判的思考)」について触れたいと思います。Critical Thinkingとは、直訳すると「批判的思考」です。つまり、何事も無批判に信じ込んでしまうのではなく、問題点を探し出して判断することです。批判的とは、いたずらに非難したり、あら探しをしたりすることが目的ではありません。物事を正確に理解すること。思考をクリアにすること。そのために、物事を多角的・多面的に眺め、いろいろな可能性を検討し、論理的に判断をする必要があります。まだ分かりづらいかもしれませんね。では逆に、クリティカルでない思考を考えてみましょう。

- ・じっくり考えもせず「こうに違いない」と決めつけてしまう思考
- ・物事も一面的、部分的にしかとらえない思考
- ・十分に情報を集めず、すぐに結論を出してしまおうとする思考
- ・感情や主観で決めてしまおうとする思考
- ・一度決めるとなかなか自分の考え方を換えようとならない思考
- ・疑うことなく、他人から言われたことにすぐ同調してしまう思考

ここに列挙した思考の逆がクリティカルな思考ということになります。ネット上には様々な情報が溢れていますが、いわゆる「フェイクニュース」もあります。2016年4月に発生した熊本地震の直後、「熊本の動物園からライオンが逃げた」というデマ情報をTwitter(現在のX)に投稿し、動物園の業務を妨害したとして、神奈川県に住む会社員の男が熊本県警に逮捕されるという事件がありました。当初このツイートは、1万7000回以上もリツイートされ、熊本市動植物園には問い合わせなどの電話が100件を超えたといわれています。こうしたニセ情報に惑わされずに冷静に判断する能力が「情報リテラシー」ですが、そのために必要な力がまさにCritical Thinking(批判的思考)です。

「近世哲学の父」と称され、哲学史上で最も有名な命題の一つである「我思う、ゆえに我あり」という言葉を残したフランスの哲学者ルネ・デカルトは、無批判に受け入れてきた先入観を排除し、真理に至るために、一旦全てのものを疑ってみる「方法的懐疑」を唱えました。これもまたCritical Thinkingと言えます。これからの時代で必要とされる資質・能力のうち、このCritical Thinkingは極めて重要なものと言えます。各教科の学習や総合的な探究の時間での活動を通して、批判的思考スキルを身につけてください。